

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

多治見市議会 議長様



令和 8 年 8 月 19 日

会派名 新生自民

2 番議員 氏名 亀井 芳樹

質問題名	戦争記憶の継承と平和教育について
質問要旨	戦後 81 年が経過し、戦争の惨禍や平和の尊さを直接語り継ぐことができる戦争体験者や遺族の高齢化が著しく進む中で、戦時の記憶の風化防止と次世代への確実な継承が全国的な重要課題となっています。本市におきましても、これまで小中学校での平和学習や戦没者追悼式の開催をはじめ、記憶の風化を防ぐための様々な取り組みが重ねられてきたことに敬意を表するものです。 一方で、多治見空襲をはじめとする地域に根ざした戦時の歴史や身近な史跡といった貴重な資源を活用し、未来を担う子どもたちへ届けていくことが求められています。また、追悼式や遺族会のあり方についても、本来の追悼の意義を保ちつつ、記憶を次世代へ引き継ぐ継承機能の充実が課題となっています。 こうした背景を踏まえ、本市の現状と課題を明らかにし、今後の施策展開につなげるため、以下の三点について見解を伺います。
質問項目①	小中学校における平和教育の現状と課題について伺います。
質問項目②	多治見市戦没者追悼式および遺族会活動を取り巻く現状と課題について伺います。
質問項目③	戦争体験者の証言や当時の記録・資料の保存、ならびに記憶の継承に向けた現状と課題について伺います。
質問の相手方	教育長・副教育長・ ^{市民} 福祉部長